



作品「瀬戸芸2019 蛙の池の今昔物語」



瀬戸内海分校プロジェクト 演習の様子



ぐんだら家 瀬戸芸作家トークイベント



香川大学広報誌「かがアド41号」(2025年2月発刊)



学部案内2026(2025年6月発刊)

Arts-Based Social Design Lab.

洞察や共感フェーズを重視した社会デザイン

アーティストの卓越した洞察力を参考に豊かな感性と創造力で社会課題*の解決に向けた新たな社会価値を創出する統合的ソリューションデザインを行う研究室です。

※社会課題:戦後近代化〜現在までに社会から取り残された瀬戸内海の離島および近隣の社会的マイノリティなどが対象

問題の洗い出し (探索)	問題の絞り込み (定義)	解決策の洗い出し (展開)	解決策の絞り込み (提供)
-----------------	-----------------	------------------	------------------

芸術未来研究場せとうち

東京藝術大学と香川大学のさまざまな研究領域が連携し、20以上のプロジェクトが進行しています。

以下、2025年度も継続中のプロジェクトです。

- ▶ 瀬戸内海分校プロジェクト 〈01〉
- ▶ 東かがわ ぐんだらけ 〈02〉
- ▶ コジバシプレイグラウンド(男木島)
- ▶ ShinAiKan Merry Go Round(豊島) 〈03〉
- ▶ 大島未来構想プロジェクト
- ▶ 瀬戸内海資源循環プロジェクト
- ▶ 万博アートする里海 〈04〉

〈01〉



〈02〉



〈03〉



〈04〉



創造は
楽しむ心から始まる冒険!!
造形・メディアデザインコース 講師
柴田悠基

創造工学部で唯一の
芸術系教員です。理系
の学生向けにデッサン
も教えています。

サイエンスとアートを融合
し、瀬戸内海の社会課題
解決に向けた活動を展開
しています。

馬場夏希さん(創造工学部4年生)

研究テーマ:データビジュアライゼーションを用いた香川県沿岸部の海洋ごみ分布提示による県民の意識調査

柴田先生は私たち学生にとってもフランクに接して下さいますし、いい意味で先生っぽくない人だなと思いました。学生自身もすべてを教えてもらうというよりは、先生の行動や考えの中からそれぞれが吸収し、いかに自分の糧にできるのかというところを意識しながら活動しています。

興味があることはとりあえず行ってみる、やってみるということを先生から学びました。得た知識がこの先どんな形で役立つかはわからないので、分野関係なく様々な知識を吸収し行動し続けるということを日々心掛けています。